

作成日：R6年7月12日

令和6年度第4回 高松圏域自立支援協議会 運営会議事録

日付	令和6年7月12日(金)
時間	9:20 ~ 11:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修
参加機関等	香川中部支援学校、高松支援学校、高松市健康づくり推進課、高松市障がい福祉課、直島町住民福祉課、障害者生活支援センターたかまつ、障害者就業・生活支援センターオリーブ、地域活動支援センタークリマ、かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設、ヒトトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、地域生活支援センターこだま、一般社団法人garyu、自立ケアシステム香川、一般社団法人ええる、相談支援センターりゅううん、高松市障がい者基幹相談支援センター 順不同 計 21 名

議題 1： 各部会活動報告について

	<p>○就労支援部会 今年度は話題提供の上、ディスカッションを行い、情報交換や勉強会を実施している。7月開催の部会では事例検討をベースに開催予定。</p> <p>○精神保健福祉部会 全体部会では情報共有や医療機関の情報などについて確認。今年度は退院支援について以前のように動き始めた病棟もあるとの情報がある。支援者交流企画委員会についても再開。精神科の医療機関との連携を深めるために、基幹相談支援センターとの連携、地域移行支援が出来る事業所との連携、ピアサポーターの活用に向けた連携の3つのコースを設定し、4つの医療機関に選択してもらう。(複数コース選択可)</p> <p>高齢者分野については来年度実施予定の研修に向けた準備を進めていく。ピアサポーターのサポートを入院患者にも届けたいという目的にむけた取り組みを複数の委員会で取り組みたい。</p>
--	---

議事

○相談支援部会

報酬改定、GSV についてグループワークを実施。ファシリテーション技術の育成と向上を目的として学んだ。緊急時・災害時の計画作成に向けたグループメンバーが決定し、今月から検討会を実施する。また、基幹相談支援センターとの連携を考える中において、相談支援専門員自身の業務内容を理解し、スキルの平準化を図る。

○身体障害者支援部会

日常生活用具給付の課題についてはアンケート結果をもとに、検討する。また、ピアサポーターについても啓発していきたい。

※ピアサポーターの関するチラシなど複数あるため、将来的には協議会としてとりまとめて発信をする等の整理を行う必要があるだろう。

○知的障害者支援部会

当事者の部会参加を9月、1月に設定。今年度も強度行動障害 SV の啓発実施する予定。

9月の部会においては権利条約についての勉強会を開催する。事前準備として、支援者がまずは権利条約について勉強する機会を設ける。

支援学校の課題について、県自立支援協議会で作成したフローチャートを共有した。

○発達障害部会

5月に実施した部会の報告あり。

○こども部会

児童発達支援、放課後等出来サービス事業所連絡会を年に2回開催予定。具外的内容は次回の部会で検討予定。

○医療的ケア部会

6月 20 日に部会開催。8月に訪問看護のフォローアップ研修を実施する予定。現場の声を活かせる内容の研修を実施する。台帳作りについては来週コアメンバーでどのような流れで台帳を作っていくのかを検討する。

○居宅サービス事業所部会

イベント案内を高松市から発信してもらった。部会でアドレスを把握している事業所が38事業所であるが、まだ 50%にも満たない状況。登録数が少ないため、アンケートの実施は保留している。次回イベントが終わった後に、コアメンバーで集まり、今後の進め方について検討する予定。

※障害者と高齢者の両方を対象に行っている事業所が多いのか？障害福祉のサービスを実施しているところの9割は介護保険のサービスも実施している。

※メールアドレスへの登録の促進への対応として、電話でお願いをしている

	<p>段階。全てを google フォームでお願いしている。</p> <p>※アンケートをとることをメインとするのであれば、市から発信してもらうのがよいのではないか。そのアンケートの文面に、この取り組みは自立支援協議会独自の取り組みであり、市の取り組みとは関係ありませんという文章を鑑文の中に記載してはどうか。</p> <p>※今回のアンケート内容が移動支援の制度自体をどう考えるのかといった内容である為、市から直接発信をすると市が促している印象を受ける恐れがある為、部会独自で発信することとなった。行政から協議会に情報提供は難しいのか。情報提供となるため、取扱いを行政として検討することが必要。</p> <p>○当事者団体家族会部会</p> <p>9月のジャパンパラ陸上競技大会のブース設置を検討している。当日の取り組み内容が決まれば、関係団体に周知や協力をお願いしていくことを検討している。</p> <p>○B 型事業所部会</p> <p>7月に事務局会を開催予定。現場職員向けの座談会開催にあたってのアンケートを各事業所に実施。工賃向上や精神障害がある利用者への対応の回答が多かったため、そのような内容を検討する。</p> <p>○権利擁護部会</p> <p>今年度は、4つの研修会を実施予定。差別解消法の研修については全事業所に案内することとした。8月初旬には案内文が完成し、発信できれば良い。各部会において上がってきた合理的配慮についての課題などもあるため、情報提供をしてもらいたい。勉強会もするが、悩んだときにどこに相談したらよいのかといったことについても検討する。</p> <p>※どのように事例を集めていくのかについては、今後検討する予定。</p> <p>○事務局</p> <p>会則見直しについて、7月末に検討委員を開催。</p> <p>子ども部会と相談支援部会、B 型事業所部会と相談支援部会等での取り組みについては協議を継続する。</p> <p>グループホーム交流会は11月に2回目を開催する。日中支援型グループホーム評価は年5回程度の評価実施に向けて準備を進める一方で、今よりも多い申し込みへの対応についても検討を進めることとする。</p>
--	--

<p>議題 2： 2024 ジャパンパラ陸上競技大会について</p>	
<p>議事</p>	<p>協議会内に実行委員を設置し、1回目の会議を6月 27 日に実施。 ヘルプマーク、防災バンダナ、当事者団体・家族会の PR(部会で当日対</p>

	<p>応)、社会就労センターか B 型事業所部会で協力してもらおう事業所を公募する。体験ブースの検討が必要。(B 型事業所部会がメインで実施する)</p> <p>次回9月の運営会議において、ジャパンパラ陸上の実行委員に参加頂く。</p>
--	--

<p>議題 3： その他</p>	
<p>議事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現任研修受講者インターバルについて 相談支援部会:9名、発達障害部会 1 名、就労部会 4 名が参加。</li> <li>○主任研受講者推薦について 4名を推薦。県全体で7名を四国の研修に申し込み予定。 行政、委託、基幹での合同会議も活用して協議をすることも検討可能。</li> <li>○徳島県美馬市・つるぎ町の視察依頼について 9月の運営会議の時に受入れする予定。</li> <li>○日中支援型 GH 評価 今年度実施した結果について報告。</li> </ul>

次回は9月13日(金) 9:20~10:50

かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室